

平成25年度

# 学校法人東京理科大学 事業報告書



学校法人

東京理科大学

TOKYO UNIVERSITY OF SCIENCE

## 目 次

|                                      |    |
|--------------------------------------|----|
| はじめに .....                           | 3  |
| I. 法人の概要                             |    |
| (1) 沿革 .....                         | 3  |
| (2) 施設の概要 .....                      | 5  |
| (3) 学校法人東京理科大学の組織図 .....             | 7  |
| (4) 学校法人東京理科大学の事務組織図 .....           | 8  |
| (5) 役員・教職員の概要 .....                  | 9  |
| II. 財務の概要                            |    |
| (1) 平成 25 年度決算の概要 .....              | 10 |
| (2) 経年比較 .....                       | 15 |
| III. 事業の概要                           |    |
| III-1 管理・運営                          |    |
| (1) 中長期計画の策定 .....                   | 20 |
| (2) 葛飾キャンパス開設に伴う事務組織再編 .....         | 20 |
| (3) 広報 .....                         | 20 |
| ① 葛飾キャンパス開設記念式典・祝賀会の開催 .....         | 20 |
| ② 広報イベントの開催 .....                    | 20 |
| ③ 葛飾区との連携イベントの開催 .....               | 21 |
| (4) ICT の強化 .....                    | 21 |
| (5) 女性活躍推進会議の設置 .....                | 21 |
| (6) 東日本大震災において被災した学生への経済的支援 .....    | 21 |
| (7) 大学基準協会による認証評価の受審 .....           | 21 |
| III-2 東京理科大学                         |    |
| (1) 教育・研究 .....                      | 22 |
| ① 葛飾キャンパスの開設 .....                   | 22 |
| ② 薬学部薬学科の入学定員変更 .....                | 22 |
| ③ 国際化の推進 .....                       | 22 |
| ④ 学生支援機構の設置 .....                    | 24 |
| (2) 外部機関採択事業 .....                   | 24 |
| ① 私立大学戦略的研究基盤形成支援事業の採択 .....         | 24 |
| ② 高等学校等の理数教育を担当する教員のためのプログラム .....   | 24 |
| (3) ICT の強化 .....                    | 24 |
| ① ICT 環境の充実 .....                    | 24 |
| ② グローバル IT 推進委員会の設置 .....            | 25 |
| (4) 産学官連携活動の強化 .....                 | 25 |
| ① 研究戦略・推進部及び URA 室の新設による新体制の構築 ..... | 25 |
| ② 葛飾区地元企業とのネットワークの構築 .....           | 25 |

|                                  |    |
|----------------------------------|----|
| (5) 施設・設備 .....                  | 25 |
| ① 総合教育機構理数教育研究センター数学体験館の開設 ..... | 25 |
| ② 生命医科学研究所動物施設の建築 .....          | 26 |
| ③ 光触媒国際研究センターの開設 .....           | 26 |
| ④ 総合研究棟の開設 .....                 | 26 |
| III-3 山口東京理科大学                   |    |
| (1) 教職課程の開設 .....                | 27 |
| (2) 学部教育と連携した新たな大学院教育の推進 .....   | 27 |
| (3) 産業界のニーズに対応した教育の展開 .....      | 27 |
| (4) 就職支援・キャリア育成体制の充実 .....       | 27 |
| (5) 教育研究を充実させるための基盤整備 .....      | 27 |
| (6) 地域との連携強化 .....               | 27 |
| III-4 諏訪東京理科大学                   |    |
| (1) システム工学部の改組に向けた諸準備の推進 .....   | 28 |
| (2) 教育改革の推進 .....                | 28 |
| (3) メディアラボ等の4つのラボの設置 .....       | 28 |
| (4) 地域連携の強化 .....                | 29 |
| IV. 参考データ                        |    |
| (1) 入学定員と学生数 .....               | 30 |
| (2) 入試状況 .....                   | 33 |
| (3) 学位授与状況 .....                 | 33 |
| (4) 進路状況 .....                   | 34 |

## はじめに

本学は、明治14年の創立以来、「理学の普及を以て国運発展の基礎とする」との建学の精神、及び「実力主義」の伝統のもと、科学技術立国日本を支える多くの人材を輩出してきました。卒業生の「質」の保証が求められるようになってきている現下にあっても、本学は社会に役立つ人材の育成に努めています。

平成25年度においても、教育・研究環境をさらに充実させ、社会からの要請に応え得る人材を輩出するべく、葛飾キャンパスの開設をはじめとし、ICT環境の充実、国際化の推進、産学官連携活動の強化等に取り組んでまいりました。また、平成24年度に引き続き東日本大震災被災学生への経済的支援を行ってまいりました。

平成26年度においても、葛飾、神楽坂、野田、久喜の4キャンパス及び山口東京理科大学、諏訪東京理科大学それぞれの利点を最大限に活用し、教育・研究をはじめとするソフト面でのより一層の充実を目指す所存です。

## I. 法人の概要

### (1) 沿革

学校法人東京理科大学は東京理科大学、山口東京理科大学、諏訪東京理科大学を擁し、それぞれの特長を活かしつつ、優秀な人材の輩出と学術の振興に努力を傾けています。

東京理科大学は、「理学の普及を以て国運発展の基礎とする」との建学の精神に基づき、明治14(1881)年に設立された東京物理学講習所を前身とし、東京物理学校と改称後、昭和24(1949)年に新制大学となって今日に至っています。平成25(2013)年には創立132年を迎え、わが国屈指の歴史と伝統のある理工系総合大学として、平成25年度末までに、20万人余りの有為な人材を社会に送り出してきました。

昭和62(1987)年には、東京理科大学の建学の精神を受け継ぎ、山口県小野田市(現山陽小野田市)に東京理科大学山口短期大学を設置し、平成2(1990)年には、長野県茅野市に東京理科大学諏訪短期大学を設置しました。その後、平成7(1995)年に東京理科大学山口短期大学を山口東京理科大学に、平成14(2002)年には東京理科大学諏訪短期大学を諏訪東京理科大学に改組転換し、本法人は現在の三大学体制となりました。

## I 法人の概要

### 【年表】

|          |  |
|----------|--|
| 明治14年 6月 | 東京帝国大学物理学科の卒業生ら21名が「国家の興隆の基礎は、理学の普及発達を図るにあり。」との堅い信念と熱意をもって東京物理学講習所を創立。後に東京物理学校と改称。 |
| 大正 4年 5月 | 財団法人東京物理学校設立   |
| 大正 6年 3月 | 各種学校から専門学校に昇格  |
| 昭和24年 4月 | 学制改革により東京理科大学（理学部第一部・第二部）設置  |
| 昭和24年 7月 | 財団法人東京物理学校を財団法人東京物理学園と改称   |
| 昭和26年 3月 | 私立学校法施行に伴い学校法人東京物理学園と改称  |
| 昭和33年 4月 | 東京理科大学大学院理学研究科修士課程設置   |
| 昭和35年 4月 | 東京理科大学薬学部設置  |
| 昭和36年 4月 | 東京理科大学大学院理学研究科博士課程設置   |
| 昭和37年 4月 | 東京理科大学工学部設置  |
| 昭和40年 4月 | 東京理科大学大学院薬学研究科修士課程設置   |
| 昭和41年 4月 | 東京理科大学大学院工学研究科修士課程設置   |
| 昭和42年 4月 | 東京理科大学理工学部設置   |
| 昭和47年 4月 | 東京理科大学大学院理工学研究科修士課程設置  |
| 昭和49年 4月 | 東京理科大学大学院理工学研究科博士課程設置  |
| 昭和51年 4月 | 東京理科大学工学部第二部設置   |
| 昭和53年 4月 | 東京理科大学大学院薬学研究科博士後期課程設置   |
| 昭和58年 4月 | 東京理科大学大学院工学研究科博士後期課程設置   |
| 昭和62年 4月 | 東京理科大学基礎工学部設置  |
| 昭和62年 4月 | 東京理科大学山口短期大学設置   |
| 昭和63年 4月 | 法人名を学校法人東京理科大学に改称  |
| 平成 2年 4月 | 東京理科大学諏訪短期大学設置   |
| 平成 3年 4月 | 東京理科大学大学院基礎工学研究科修士課程設置   |
| 平成 5年 4月 | 東京理科大学大学院基礎工学研究科博士後期課程設置   |
| 平成 5年 4月 | 東京理科大学経営学部設置   |
| 平成 7年 4月 | 山口東京理科大学（基礎工学部）設置  |
| 平成 9年 4月 | 東京理科大学大学院経営学研究科修士課程設置  |
| 平成 9年 4月 | 東京理科大学大学院生命科学研究科修士課程設置   |
| 平成11年 4月 | 東京理科大学大学院生命科学研究科博士後期課程設置   |
| 平成11年 4月 | 山口東京理科大学大学院基礎工学研究科修士課程設置   |
| 平成14年 4月 | 諏訪東京理科大学（システム工学部・経営情報学部）設置   |
| 平成15年 4月 | 山口東京理科大学大学院基礎工学研究科博士後期課程設置   |
| 平成16年 4月 | 東京理科大学大学院総合科学技術経営研究科専門職学位課程設置  |
| 平成18年 4月 | 諏訪東京理科大学大学院工学・マネジメント研究科修士課程設置  |
| 平成21年 4月 | 東京理科大学大学院総合化学研究科博士課程設置   |
| 平成21年 4月 | 東京理科大学大学院科学教育研究科修士課程設置   |
| 平成21年 4月 | 東京理科大学大学院総合科学技術経営研究科博士後期課程設置   |
| 平成21年 4月 | 山口東京理科大学基礎工学部を工学部に名称変更   |
| 平成22年 4月 | 東京理科大学大学院国際火災科学研究科修士課程設置   |
| 平成23年 4月 | 東京理科大学大学院科学教育研究科博士後期課程設置   |
| 平成23年 4月 | 東京理科大学大学院総合科学技術経営研究科をイノベーション研究科に名称変更   |
| 平成24年 4月 | 東京理科大学大学院薬学研究科薬学専攻博士課程設置   |
| 平成24年 4月 | 東京理科大学大学院薬学研究科薬科学専攻博士後期課程設置  |
| 平成24年 4月 | 東京理科大学大学院国際火災科学研究科火災科学専攻博士後期課程設置   |
| 平成24年 4月 | 諏訪東京理科大学大学院工学・マネジメント研究科博士後期課程設置  |
| 平成25年 4月 | 山口東京理科大学大学院基礎工学研究科を工学研究科に名称変更  |

## (2) 施設の概要

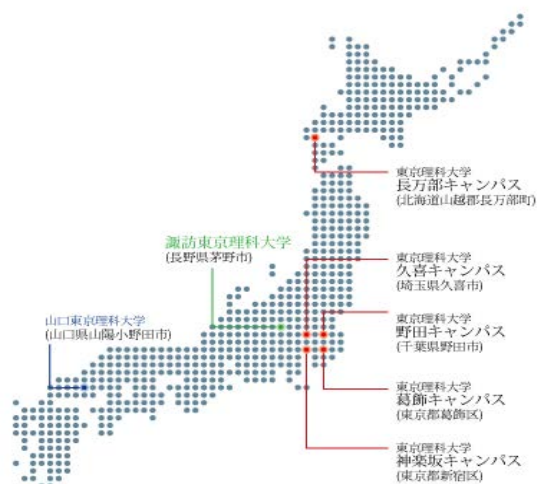
## ① 校地・校舎

## ◆ 東京理科大学

- ・ 神楽坂キャンパス 【校地:17,727.4 m<sup>2</sup> 校舎:63,829.4 m<sup>2</sup>】  
理学部第一部・第二部、工学部第一部・第二部  
理学研究科、総合化学研究科、科学教育研究科、工学研究科  
イノベーション研究科、国際火災科学研究科、理学専攻科
- ・ 野田キャンパス 【校地:430,430.9 m<sup>2</sup> 校舎:135,672.9 m<sup>2</sup>】  
薬学部、理工学部  
薬学研究科、理工学研究科、生命科学研究科
- ・ 長万部キャンパス 【校地:278,502.6 m<sup>2</sup> 校舎:8,714.8 m<sup>2</sup>】  
基礎工学部 (1年次)
- ・ 久喜キャンパス 【校地:99,253.7 m<sup>2</sup> 校舎:13,486.1 m<sup>2</sup>】  
経営学部、経営学研究科
- ・ 葛飾キャンパス 【校地:44,772.3 m<sup>2</sup> 校舎:82,105.1 m<sup>2</sup>】  
理学部第一部、工学部第一部・第二部、基礎工学部 (2～4年次)  
理学研究科、工学研究科、基礎工学研究科

- ◆ 山口東京理科大学 【校地:89,300.4 m<sup>2</sup> 校舎:18,378.1 m<sup>2</sup>】  
工学部、工学研究科

- ◆ 諏訪東京理科大学 【校地:89,384.0 m<sup>2</sup> 校舎:23,456.6 m<sup>2</sup>】  
システム工学部、経営情報学部  
工学・マネジメント研究科



## I 法人の概要

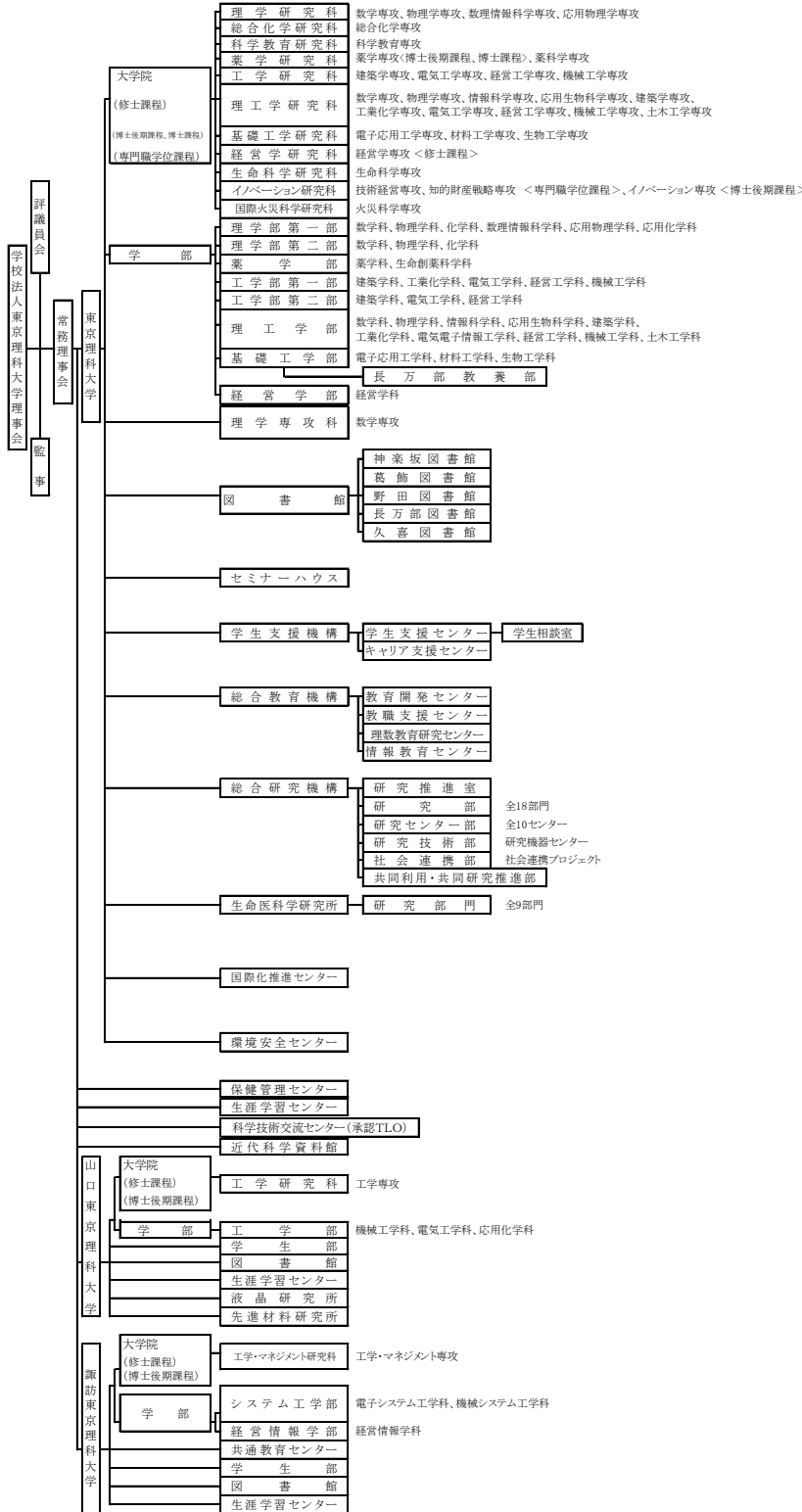
### ② 研究用施設

- ・生命医科学研究所
- ・火災科学研究センター
- ・赤外自由電子レーザー研究センター
- ・がん医療基盤科学技術研究センター
- ・グリーン&セーフティ研究センター
- ・戦略的物理製剤学研究基盤センター
- ・RNA科学総合研究センター
- ・戦略的環境次世代健康科学研究基盤センター
- ・キラリティー研究センター
- ・計算科学研究センター
- ・情報科学研究センター
- ・ゲノム創薬研究センター
- ・DDS研究センター
- ・器官再生工学プロジェクト研究棟 等

### ③ 研修・保養施設等

- ・館山研修所（千葉県館山市）
- ・谷川山荘（群馬県利根郡みなかみ町）
- ・太子研修センター（茨城県久慈郡太子町）
- ・学生研修センター（千葉県野田市）
- ・セミナーハウス（千葉県野田市）
- ・諏訪東京理科大学セミナーハウス（長野県茅野市）
- ・東伊豆研修保養所（静岡県賀茂郡東伊豆町）

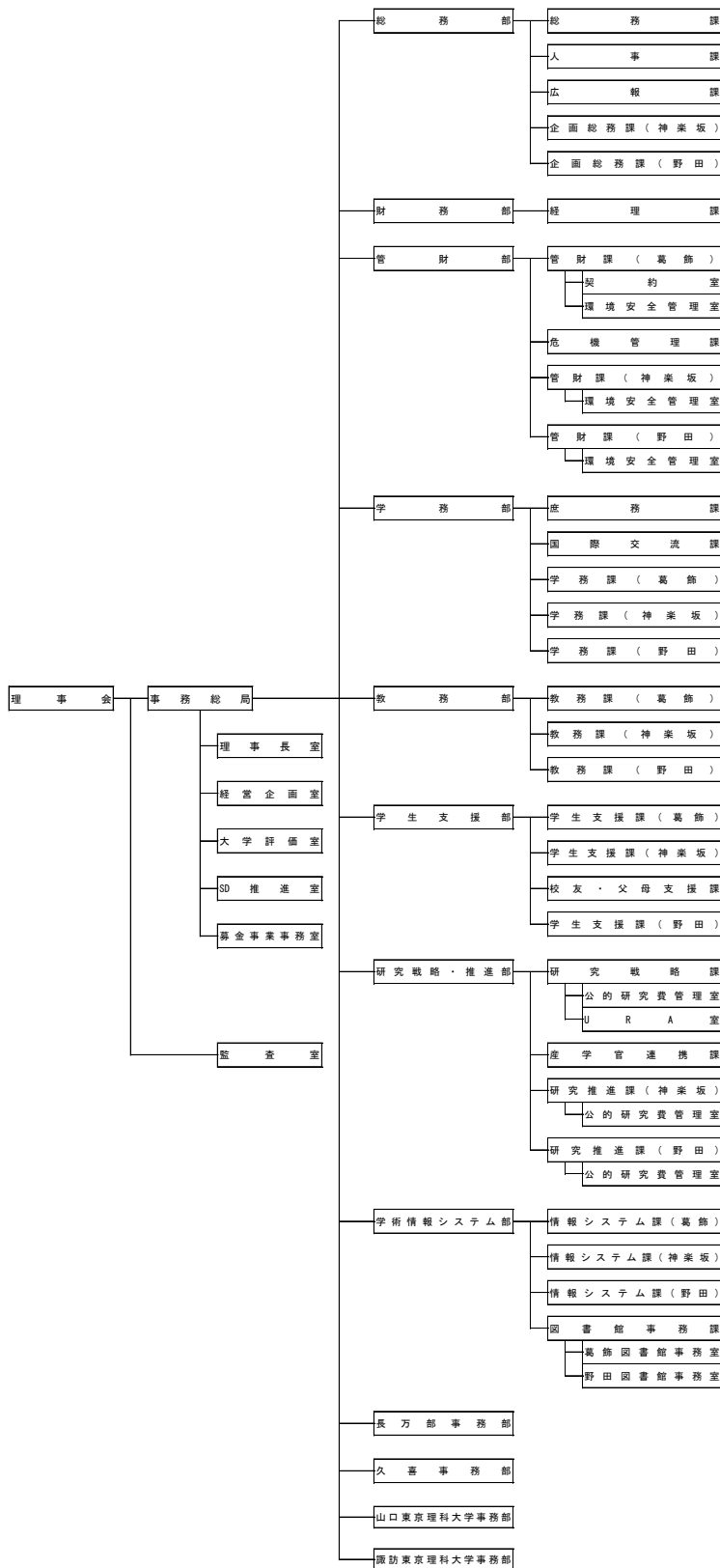
(3) 学校法人東京理科大学の組織図 (平成26年3月31日現在)





# I 法人の概要

## (4) 学校法人東京理科大学の事務組織図 (平成 26 年 3 月 31 日現在)



## (5) 役員・教職員の概要 (平成 26 年 3 月 31 日現在)

## 【役員】

|      |        |        |       |       |  |
|------|--------|--------|-------|-------|--|
| 理事長  | 中根 滋   |        |       |       |  |
| 常務理事 | 池北 雅彦  | 横倉 隆   | 吉本 成香 |       |  |
| 理事   | 赤上 好   | 岡村 総一郎 | 平川 保博 | 村田 雄司 |  |
|      | 安部 良   | 河村 洋   | 塚本 桓世 | 友岡 康弘 |  |
|      | 半谷 精一郎 | 藤嶋 昭   | 本山 和夫 | 森野 義男 |  |
| 監事   | 岩片 古志郎 | 中谷 幸俊  |       |       |  |

## 【評議員数】

評議員 73名

## 【専任教職員数】

教員：841名 職員：530名

## II. 財務の概要

### (1) 平成 25 年度決算の概要

#### ① 資金収支計算

平成 25 年度資金収入は、平成 25 年度予算比（以下「予算比」という。）99 億 6,828 万円増の 484 億 8,425 万円であり、これに前年度繰越支払資金 271 億 7,008 万円を加えた収入の部合計は、予算比 99 億 6,828 万円増の 756 億 5,434 万円です。

これに対して資金支出は、予算比 35 億 2,443 万円増の 421 億 9,567 万円であったので、次年度繰越支払資金は、予算比 64 億 4,385 万円増の 334 億 5,867 万円となり、支出の部合計は、756 億 5,434 万円です。

表 1 資金収支計算書

(単位:円)

|            | 予 算                | 決 算             | 差 異              |
|------------|--------------------|-----------------|------------------|
| 学生生徒等納付金収入 | 26,307,830,000     | 25,529,887,895  | 777,942,105      |
| 手数料収入      | 1,704,533,000      | 1,789,562,210   | △ 85,029,210     |
| 寄付金収入      | 317,500,000        | 341,050,702     | △ 23,550,702     |
| 補助金収入      | 4,371,851,000      | 5,074,564,368   | △ 702,713,368    |
| 資産運用収入     | 262,050,000        | 290,770,425     | △ 28,720,425     |
| 資産売却収入     | 0                  | 11,408,274,671  | △ 11,408,274,671 |
| 事業収入       | 1,459,273,000      | 1,460,428,260   | △ 1,155,260      |
| 雑収入        | 937,836,000        | 1,213,917,849   | △ 276,081,849    |
| 前受金収入      | 6,890,228,000      | 6,221,267,271   | 668,960,729      |
| その他の収入     | 3,659,631,000      | 3,020,589,239   | 639,041,761      |
| 資金収入調整勘定   | △ 7,394,763,000    | △ 7,866,059,218 | 471,296,218      |
| 前年度繰越支払資金  | 27,170,083,416     | 27,170,083,416  |                  |
| 収入の部合計     | 65,686,052,416     | 75,654,337,088  | △ 9,968,284,672  |
| 人件費支出      | 16,807,084,000     | 16,673,007,969  | 134,076,031      |
| 教育研究経費支出   | 9,974,513,000      | 9,379,816,230   | 594,696,770      |
| 管理経費支出     | 2,497,562,000      | 3,184,024,103   | △ 686,462,103    |
| 借入金等利息支出   | 424,755,000        | 370,049,954     | 54,705,046       |
| 借入金等返済支出   | 138,880,000        | 138,880,000     | 0                |
| 施設関係支出     | 2,282,604,000      | 2,203,854,459   | 78,749,541       |
| 設備関係支出     | 1,962,084,000      | 1,796,435,057   | 165,648,943      |
| 資産運用支出     | 1,515,641,000      | 5,754,170,343   | △ 4,238,529,343  |
| その他の支出     | 5,028,565,000      | 5,092,082,172   | △ 63,517,172     |
| 予備費        | (0)<br>300,000,000 |                 | 300,000,000      |
| 資金支出調整勘定   | △ 2,260,451,000    | △ 2,396,650,556 | 136,199,556      |
| 次年度繰越支払資金  | 27,014,815,416     | 33,458,667,357  | △ 6,443,851,941  |
| 支出の部合計     | 65,686,052,416     | 75,654,337,088  | △ 9,968,284,672  |

② 消費収支計算

平成 25 年度帰属収入合計は、予算比 11 億 9,981 万円増の 368 億 7,668 万円です。これから基本金組入額 28 億 4,704 万円を差し引いた本年度の消費収入は、予算比 3 億 6,995 万円増の 340 億 2,964 万円です。

これに対して消費支出は、予算比 2 億 6,501 万円減の 357 億 9,876 万円です。

この結果、平成 25 年度の消費収支差額は 17 億 6,912 万円の支出超過となり、平成 24 年度から繰り越されてきた消費支出超過額 106 億 3,585 万円を加え、基本金取崩額 2 億 7,972 万円を差し引くと、平成 26 年度への繰越消費支出超過額は 121 億 2,525 万円となります。

表2 消費収支計算書

(単位:円)

|                         | 予 算                | 決 算             | 差 異             |
|-------------------------|--------------------|-----------------|-----------------|
| 学 生 生 徒 等 納 付 金         | 26,307,830,000     | 25,529,887,895  | 777,942,105     |
| 手 数 料                   | 1,704,533,000      | 1,789,562,210   | △ 85,029,210    |
| 寄 付 金                   | 633,500,000        | 948,623,120     | △ 315,123,120   |
| 補 助 金                   | 4,371,851,000      | 5,074,564,368   | △ 702,713,368   |
| 資 産 運 用 収 入             | 262,050,000        | 290,770,425     | △ 28,720,425    |
| 資 産 売 却 差 額             | 0                  | 560,806,967     | △ 560,806,967   |
| 事 業 収 入                 | 1,459,273,000      | 1,460,428,260   | △ 1,155,260     |
| 雑 収 入                   | 937,836,000        | 1,222,034,802   | △ 284,198,802   |
| 帰 属 収 入 合 計             | 35,676,873,000     | 36,876,678,047  | △ 1,199,805,047 |
| 基 本 金 組 入 額             | △ 2,017,189,000    | △ 2,847,042,356 | 829,853,356     |
| 消 費 収 入 の 部 合 計         | 33,659,684,000     | 34,029,635,691  | △ 369,951,691   |
| 人 件 費                   | 16,768,186,000     | 16,600,793,581  | 167,392,419     |
| 教 育 研 究 経 費             | 15,386,376,000     | 14,535,714,715  | 850,661,285     |
| 管 理 経 費                 | 3,088,177,000      | 3,904,849,401   | △ 816,672,401   |
| 借 入 金 等 利 息             | 424,755,000        | 370,049,954     | 54,705,046      |
| 資 産 処 分 差 額             | 96,274,000         | 384,904,026     | △ 288,630,026   |
| 徴収不能引当金繰入額(又は徴収不能額)     | 0                  | 2,448,000       | △ 2,448,000     |
| 予 備 費                   | (0)<br>300,000,000 |                 | 300,000,000     |
| 消 費 支 出 の 部 合 計         | 36,063,768,000     | 35,798,759,677  | 265,008,323     |
| 当 年 度 消 費 支 出 超 過 額     | 2,404,084,000      | 1,769,123,986   |                 |
| 前 年 度 繰 越 消 費 支 出 超 過 額 | 10,635,845,339     | 10,635,845,339  |                 |
| 基 本 金 取 崩 額             | 0                  | 279,721,875     |                 |
| 翌 年 度 繰 越 消 費 支 出 超 過 額 | 13,039,929,339     | 12,125,247,450  |                 |

## II 財務の概要

### ③ 貸借対照表

平成 25 年度末の資産総額は、前年度末比 16 億 9,903 万円減の 1,893 億 8,650 万円です。また、負債総額は、前年度末比 27 億 7,695 万円減の 333 億 654 万円です。

資産の部は、固定資産が前年度末比 76 億 3,858 万円減の 1,532 億 6,951 万円であり、流動資産が前年度末比 59 億 3,955 万円増の 361 億 1,699 万円です。その結果、固定資産構成比率は 80.9%であり、流動資産構成比率は 19.1%です。

負債の部は、長期借入金が前年度末比 8 億 9,088 万円減の 184 億 9,232 万円であり、その結果、固定負債は前年度比 8 億 9,347 万円減の 236 億 9,135 万円となり、固定負債構成比率は 12.5%となりました。

また、流動負債は前年度比 18 億 8,348 万円減の 96 億 1,519 万円となり、流動負債構成比率は 5.1%となりました。

基本金の部は、前年度末比 25 億 6,732 万円増の 1,682 億 521 万円であり、このほかに未組入額が 195 億 7,021 万円あります。

消費収支差額の部は、翌年度繰越消費支出超過額が前年度比 14 億 8,940 万円増の 121 億 2,525 万円となりました。

II 財務の概要

表3 貸借対照表

(単位:円)

| 〔資産の部〕  |                  |                  |                 |
|---|------------------|------------------|-----------------|
| 科 目   | 本年度末             | 前年度末             | 増 減             |
| 固 定 資 産                                       | 153,269,512,818  | 160,908,090,762  | △ 7,638,577,944 |
| 有 形 固 定 資 産                                   | 137,315,203,307  | 139,025,564,821  | △ 1,710,361,514 |
| 土 地   | 36,717,130,597   | 36,767,466,597   | △ 50,336,000    |
| 建 物   | 79,520,376,040   | 81,022,746,767   | △ 1,502,370,727 |
| 構 築 物   | 2,624,450,461    | 2,772,628,594    | △ 148,178,133   |
| 教 育 研 究 用 機 器 備 品                             | 10,239,232,371   | 10,307,331,214   | △ 68,098,843    |
| そ の 他 の 機 器 備 品                               | 465,465,539      | 450,743,403      | 14,722,136      |
| 図 書   | 7,717,370,091    | 7,652,419,317    | 64,950,774      |
| 車 輜   | 31,178,208       | 18,366,429       | 12,811,779      |
| 建 設 仮 勘 定                                     | 0                | 33,862,500       | △ 33,862,500    |
| そ の 他 の 固 定 資 産                               | 15,954,309,511   | 21,882,525,941   | △ 5,928,216,430 |
| 借 地 権   | 81,095,616       | 81,095,616       | 0               |
| 電 話 加 入 権                                     | 15,393,601       | 15,393,601       | 0               |
| 施 設 利 用 権                                     | 1,955,730        | 3,295,320        | △ 1,339,590     |
| ソ フ ト ウ ェ ア                                   | 16,172,147       | 0                | 16,172,147      |
| 有 価 証 券                                       | 901,854,134      | 6,480,557,673    | △ 5,578,703,539 |
| 収 益 事 業 元 入 金                                 | 2,604,592,337    | 2,604,592,337    | 0               |
| 長 期 貸 付 金                                     | 1,979,253,721    | 1,989,891,339    | △ 10,637,618    |
| 保 証 金   | 116,532,202      | 116,252,202      | 280,000         |
| 預 託 金   | 255,550          | 265,710          | △ 10,160        |
| 退 職 給 与 引 当 特 定 資 産                           | 5,000,000,000    | 5,500,000,000    | △ 500,000,000   |
| 維 持 会 施 設 拡 充 引 当 特 定 資 産                     | 249,329,473      | 264,329,143      | △ 14,999,670    |
| 施 設 拡 充 引 当 特 定 資 産                           | 497,875,000      | 336,853,000      | 161,022,000     |
| 減 価 償 却 引 当 特 定 資 産                           | 3,600,000,000    | 3,600,000,000    | 0               |
| 葛 飾 二 期 土 地 購 入 引 当 特 定 資 産                   | 150,000,000      | 150,000,000      | 0               |
| 将 来 事 業 引 当 特 定 資 産                           | 640,000,000      | 640,000,000      | 0               |
| 第 3 号 基 本 金 引 当 資 産                           | 100,000,000      | 100,000,000      | 0               |
| 流 動 資 産                                       | 36,116,988,869   | 30,177,442,789   | 5,939,546,080   |
| 現 金 預 金                                       | 33,458,667,357   | 27,170,083,416   | 6,288,583,941   |
| 未 収 入 金                                       | 2,108,032,304    | 2,074,711,977    | 33,320,327      |
| 有 価 証 券                                       | 230,250,000      | 500,000,000      | △ 269,750,000   |
| 前 払 費 用                                       | 293,275,256      | 238,746,581      | 54,528,675      |
| 仮 払 金   | 26,763,952       | 193,900,815      | △ 167,136,863   |
| 資 産 の 部 合 計                                   | 189,386,501,687  | 191,085,533,551  | △ 1,699,031,864 |
| 〔負債の部〕  |                  |                  |                 |
| 科 目   | 本年度末             | 前年度末             | 増 減             |
| 固 定 負 債                                       | 23,691,354,104   | 24,584,826,198   | △ 893,472,094   |
| 長 期 借 入 金                                     | 18,492,320,000   | 19,383,200,000   | △ 890,880,000   |
| 退 職 給 与 引 当 金                                 | 5,063,086,265    | 5,135,300,653    | △ 72,214,388    |
| 環 境 対 策 引 当 金                                 | 32,976,000       | 32,976,000       | 0               |
| 長 期 未 払 金                                     | 102,971,839      | 33,349,545       | 69,622,294      |
| 流 動 負 債                                       | 9,615,185,908    | 11,498,664,048   | △ 1,883,478,140 |
| 短 期 借 入 金                                     | 890,880,000      | 138,880,000      | 752,000,000     |
| 未 払 金   | 2,090,879,877    | 4,484,285,112    | △ 2,393,405,235 |
| 前 受 金   | 6,221,267,271    | 6,418,276,914    | △ 197,009,643   |
| 預 り 金   | 412,158,760      | 457,222,022      | △ 45,063,262    |
| 負 債 の 部 合 計                                   | 33,306,540,012   | 36,083,490,246   | △ 2,776,950,234 |
| 〔基本金の部〕                                       |                  |                  |                 |
| 第 1 号 基 本 金                                   | 165,997,209,125  | 163,429,888,644  | 2,567,320,481   |
| 第 3 号 基 本 金                                   | 100,000,000      | 100,000,000      | 0               |
| 第 4 号 基 本 金                                   | 2,108,000,000    | 2,108,000,000    | 0               |
| 基 本 金 の 部 合 計                                 | 168,205,209,125  | 165,637,888,644  | 2,567,320,481   |
| 〔消費収支差額の部〕                                    |                  |                  |                 |
| 翌 年 度 繰 越 消 費 支 出 超 過 額                       | 12,125,247,450   | 10,635,845,339   | 1,489,402,111   |
| 消 費 収 支 差 額 の 部 合 計                           | △ 12,125,247,450 | △ 10,635,845,339 | △ 1,489,402,111 |
| 負 債 の 部 、 基 本 金 の 部 お よ び 消 費 収 支 差 額 の 部 合 計 | 189,386,501,687  | 191,085,533,551  | △ 1,699,031,864 |

## II 財務の概要

### ④ 収益事業会計 損益計算書

平成 25 年度営業収益 4,847 万円から営業費用 9,301 万円を差し引いた本年度の営業利益は、△4,453 万円であり、これに営業外収益の 1 万円を加えた経常利益は△4,452 万円となり、当期純利益は同額の△4,452 万円です。

表4 収益事業会計決算書 損益計算書

(単位：円)

| 科 目          |              |
|--------------|--------------|
| 営業収益         | 48,474,540   |
| 営業費用         | 93,006,414   |
| 営業利益         | △ 44,531,874 |
| 営業外収益        | 8,882        |
| 経常利益         | △ 44,522,992 |
| 学校会計繰入支出     | 0            |
| 税引前当期純利益     | △ 44,522,992 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 0            |
| 当期純利益        | △ 44,522,992 |

### ⑤ 収益事業会計 貸借対照表

平成 25 年度末の資産総額は 25 億 5,457 万円であり、固定資産構成比率は 97.5% (流動資産構成比率 2.5%) です。

また、負債総額は 1,555 万円であり、固定負債構成比率は 0.4% (流動負債構成比率 0.2%) です。

資産総額から負債総額を差し引いて算出される純資産額は 25 億 3,902 万円であり、その内訳は元入金 26 億 459 万円、利益剰余金△6,557 万円です。

表 5 収益事業会計決算書 貸借対照表

(単位：円)

| 資 産 の 部 |               | 負 債 の 部   |               |
|---------|---------------|-----------|---------------|
| 科 目     | 金 額           | 科 目       | 金 額           |
| 流動資産    | 63,571,175    | 流動負債      | 5,064,743     |
| 現金預金    | 62,775,206    | 未払金       | 126,167       |
| 未収入金    | 795,969       | 前受収益      | 4,938,576     |
| 固定資産    | 2,490,996,469 | 固定負債      | 10,485,360    |
| 有形固定資産  | 2,490,996,469 | 預り敷金      | 10,485,360    |
| 建物      | 913,136,200   | 負債合計      | 15,550,103    |
| 構築物     | 9,373,760     | 純 資 産 の 部 |               |
| 土地      | 1,568,486,509 | 元入金       | 2,604,592,337 |
|         |               | 利益剰余金     | △ 65,574,796  |
|         |               | その他利益剰余金  | △ 65,574,796  |
|         |               | 繰越利益剰余金   | △ 65,574,796  |
|         |               | 純資産合計     | 2,539,017,541 |
| 資産合計    | 2,554,567,644 | 負債・純資産合計  | 2,554,567,644 |

注記 1. 有形固定資産の減価償却の方法は、定額法によっている。

2. 減価償却累計額は、74,230,473円である。

## (2) 経年比較

### ① 資金収支計算

資金収支計算は、教育研究その他の諸活動に要する 1 年間の収入及び支出の内容を見るもので、資金の流れを集計したものです。表 6 は、本学の平成 21 年度から平成 25 年度まで 5 年間の連続資金収支計算書を表し、本学の年間資金収支規模の推移が分かります。



## II 財務の概要

表6 経年比較(資金収支)

(単位:百万円)

| 資金収支 内訳      |             | 平成21年度   |         | 平成22年度   |         | 平成23年度   |         | 平成24年度   |         | 平成25年度  |         |
|--------------|-------------|----------|---------|----------|---------|----------|---------|----------|---------|---------|---------|
| ① 学生生徒等納付金収入 | ① 人件費支出     | 26,081   | 16,600  | 26,543   | 16,575  | 26,629   | 16,657  | 26,073   | 17,158  | 25,530  | 16,673  |
| ② 手数料収入      | ② 教育研究経費支出  | 1,705    | 9,068   | 1,748    | 9,055   | 1,750    | 8,786   | 1,779    | 9,308   | 1,789   | 9,380   |
| ③ 寄付金収入      | ③ 管理経費支出    | 359      | 2,265   | 385      | 3,516   | 386      | 2,339   | 389      | 3,259   | 341     | 3,184   |
| ④ 補助金収入      | ④ 借入金等利息支出  | 4,075    | 353     | 4,342    | 333     | 5,163    | 304     | 4,442    | 301     | 5,075   | 370     |
| ⑤ 資産運用収入     | ⑤ 借入金等返済支出  | 436      | 1,483   | 447      | 5,803   | 294      | 160     | 276      | 139     | 291     | 139     |
| ⑥ 資産売却収入     | ⑥ 施設関係支出    | 2,000    | 6,683   | 26,697   | 4,355   | 8,092    | 14,997  | 8,996    | 18,693  | 11,408  | 2,204   |
| ⑦ 事業収入       | ⑦ 設備関係支出    | 1,408    | 2,285   | 1,365    | 2,000   | 1,374    | 1,565   | 1,355    | 2,421   | 1,460   | 1,797   |
| ⑧ 雑収入        | ⑧ 資産運用支出    | 988      | 2,852   | 1,070    | 10,620  | 1,029    | 16,312  | 1,317    | 12,159  | 1,214   | 5,754   |
| ⑨ 借入金等収入     | ⑨ その他の支出    | 0        | 1,880   | 0        | 2,076   | 0        | 4,035   | 6,000    | 2,764   | 0       | 5,092   |
| ⑩ 前受金収入      | ⑩ 予備費       | 17,574   |         | 17,493   |         | 16,943   |         | 6,418    |         | 6,221   |         |
| ⑪ その他の収入     |             | 1,799    |         | 2,669    |         | 13,080   |         | 9,258    |         | 3,021   |         |
| ⑫ 資金収入調整勘定   | ⑫ 資金支出調整勘定  | △ 18,084 | △ 1,722 | △ 18,493 | △ 3,635 | △ 19,164 | △ 2,279 | △ 18,359 | △ 4,681 | △ 7,866 | △ 2,397 |
| <当年度収入合計>    | <当年度支出合計>   | 38,341   | 41,747  | 64,266   | 50,698  | 55,576   | 62,876  | 47,944   | 61,521  | 48,484  | 42,196  |
| ⑬ 前年度繰越支払資金  | ⑬ 次年度繰越支払資金 | 37,885   | 34,479  | 34,479   | 48,047  | 48,047   | 40,747  | 40,747   | 27,170  | 27,170  | 33,458  |
| 収入の部合計       | 支出の部合計      | 76,226   | 76,226  | 98,745   | 98,745  | 103,623  | 103,623 | 88,691   | 88,691  | 75,654  | 75,654  |

### ② 消費収支計算

消費収支計算は、消費収入と消費支出の内容及び均衡状態を明らかにし、毎年度の経営状況を示すものです。表7は、本学の平成21年度から平成25年度まで5年間の連続消費収支計算書を表しています。

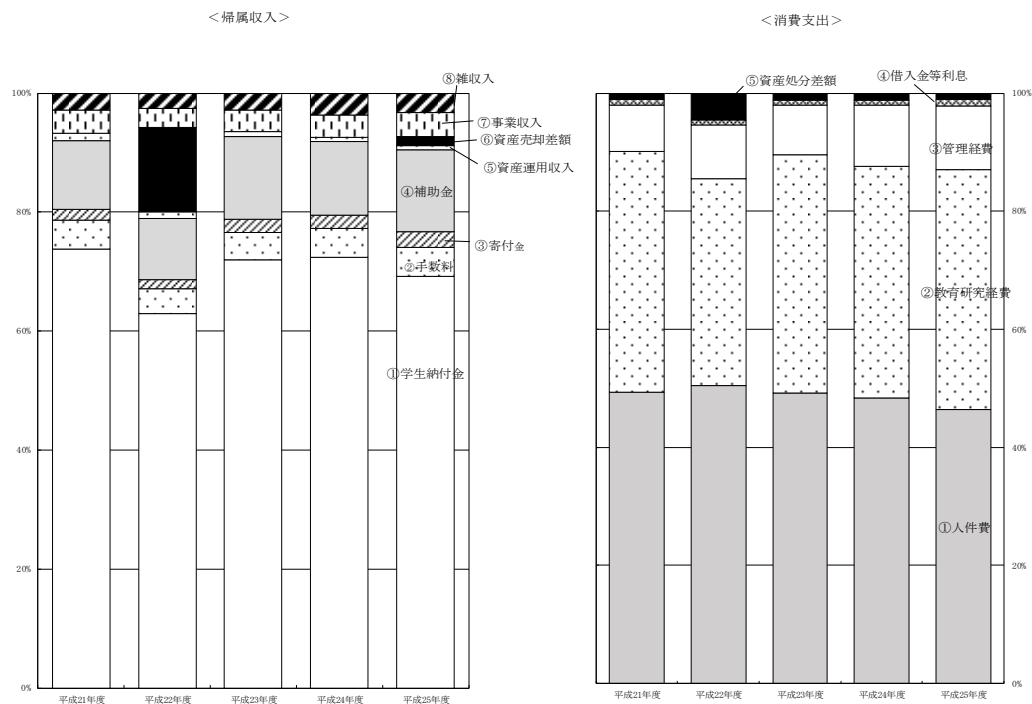
学生納付金は最大の財源であり、本学に限らず私立大学のほとんどはこの学生納付金に依存しているのが現状です。本学では、学生の確保も順調であることから、安定した収入となっています。

表7 経年比較(消費収支)

(単位:百万円)

| 消費収支 内訳     |              | 平成21年度  |          | 平成22年度  |          | 平成23年度  |         | 平成24年度  |          | 平成25年度  |          |
|-------------|--------------|---------|----------|---------|----------|---------|---------|---------|----------|---------|----------|
| ① 学生生徒等納付金  | ① 人件費        | 26,081  | 16,512   | 26,543  | 19,844   | 26,629  | 16,231  | 26,073  | 16,939   | 25,530  | 16,601   |
| ② 手数料       | ② 教育研究経費     | 1,705   | 13,687   | 1,748   | 13,782   | 1,750   | 13,316  | 1,779   | 13,732   | 1,789   | 14,536   |
| ③ 寄付金       | ③ 管理経費       | 640     | 2,595    | 645     | 3,594    | 793     | 2,745   | 796     | 3,672    | 949     | 3,905    |
| ④ 補助金       | ④ 借入金等利息     | 4,075   | 352      | 4,342   | 333      | 5,163   | 304     | 4,442   | 301      | 5,075   | 370      |
| ⑤ 資産運用収入    | ⑤ 資産処分差額     | 433     | 339      | 442     | 1,792    | 288     | 373     | 266     | 373      | 291     | 385      |
| ⑥ 資産売却差額    | ⑥ 徴収不能引当金繰入額 | 0       | 3        | 5,993   | 0        | 0       | 1       | 0       | 19       | 561     | 2        |
| ⑦ 事業収入      | ⑦ 徴収不能額      | 1,408   | 5        | 1,365   | 1        | 1,374   | 1       | 1,355   | 1        | 1,460   | 0        |
| ⑧ 雑収入       | ⑧ 予備費        | 989     |          | 1,070   |          | 1,032   |         | 1,317   |          | 1,222   |          |
| 帰属収入合計      |              | 35,331  |          | 42,148  |          | 37,029  |         | 36,028  |          | 36,877  |          |
| 基本金組入額      |              | △ 6,140 |          | △ 5,501 |          | △ 2,538 |         | △ 9,151 |          | △ 2,847 |          |
| 消費収入の部合計    | 消費支出の部合計     | 29,191  | 33,493   | 36,647  | 39,346   | 34,491  | 32,971  | 26,877  | 35,037   | 34,030  | 35,799   |
| 当年度消費収支差額   |              |         | △ 4,302  |         | △ 2,699  |         | 1,520   |         | △ 8,160  |         | △ 1,769  |
| 前年度繰越消費収支差額 |              |         | △ 8,183  |         | △ 12,485 |         | △ 7,120 |         | △ 5,600  |         | △ 10,636 |
| 基本金取崩額      |              |         |          |         | 8,064    |         |         |         | 3,124    |         | 280      |
| 翌年度繰越消費収支差額 |              |         | △ 12,485 |         | △ 7,120  |         | △ 5,600 |         | △ 10,636 |         | △ 12,125 |

表 8 消費収支年度別構成比率



## II 財務の概要

### ③ 貸借対照表

貸借対照表は、年度末における資産、負債、正味財産の状態、すなわち学校法人にどのような資産と負債がいくらあるかを表示し、正味財産を表したものです。

表9は、本学の平成21年度から平成25年度まで5年間の連続貸借対照表を表しています。

表9 経年比較(貸借対照表)

(単位:百万円)

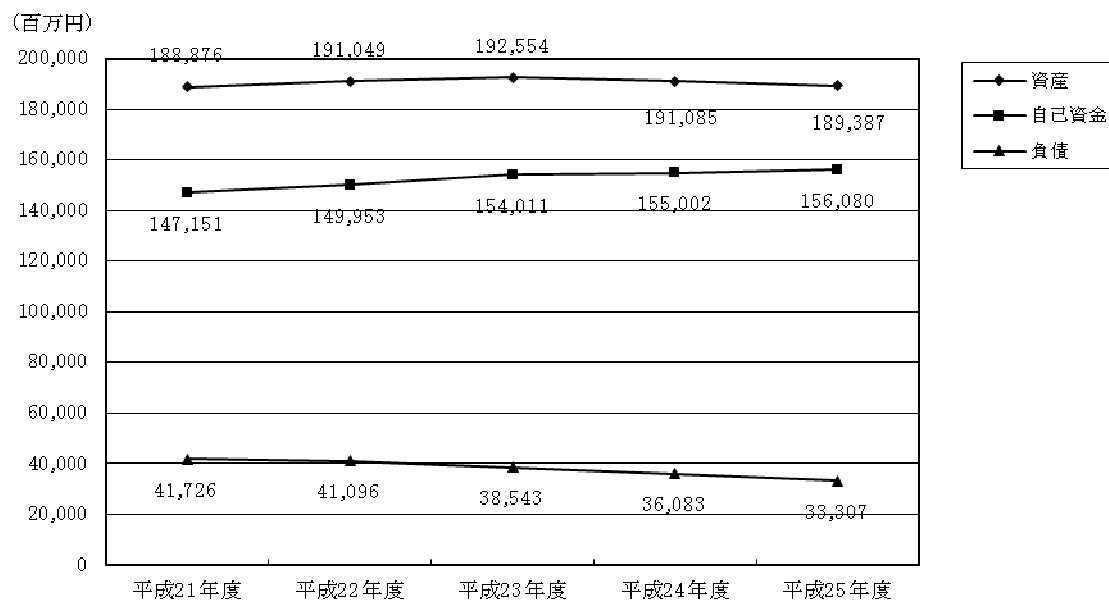
| 科 目           |                 | 平成21年度   | 平成22年度  | 平成23年度  | 平成24年度   | 平成25年度   |
|---------------|-----------------|----------|---------|---------|----------|----------|
| 資 産           | 固 定 資 産         | 153,304  | 141,882 | 149,066 | 160,908  | 153,270  |
|               | 有 形 固 定 資 産     | 126,838  | 111,154 | 122,821 | 139,026  | 137,315  |
|               | そ の 他 の 固 定 資 産 | 26,466   | 30,728  | 26,245  | 21,882   | 15,955   |
|               | 流 動 資 産         | 35,572   | 49,167  | 43,488  | 30,177   | 36,117   |
|               | 資 産 の 部 合 計     | 188,876  | 191,049 | 192,554 | 191,085  | 189,387  |
| 負 債           | 固 定 負 債         | 20,712   | 19,479  | 18,955  | 24,585   | 23,692   |
|               | 流 動 負 債         | 21,014   | 21,617  | 19,588  | 11,498   | 9,615    |
|               | 負 債 の 部 合 計     | 41,726   | 41,096  | 38,543  | 36,083   | 33,307   |
| 基 本 金 の 部 合 計 |                 | 159,637  | 157,073 | 159,611 | 165,638  | 168,205  |
| 消 費 収 支 差 額   |                 | △ 12,486 | △ 7,120 | △ 5,600 | △ 10,636 | △ 12,125 |

|         |         |         |         |         |         |
|---------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 自 己 資 金 | 147,151 | 149,953 | 154,011 | 155,002 | 156,080 |
|---------|---------|---------|---------|---------|---------|

自己資金=基本金+消費収支差額

表10 資産、負債、自己資金の推移



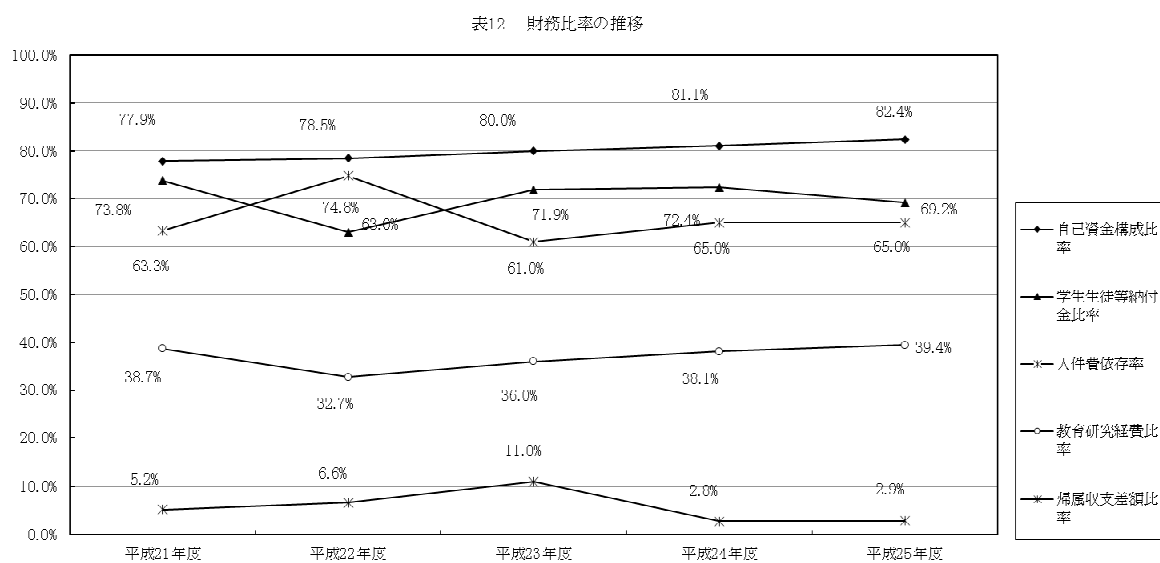
④ 主な財務比率

表11・12は、本学における財務比率の推移を表しています。

表11 主な財務比率の推移

| 区 分        |                  | 21年度  | 22年度  | 23年度  | 24年度  | 25年度  |
|------------|------------------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 人件費依存率     | 人件費／学生生徒等納付金     | 63.3% | 74.8% | 61.0% | 65.0% | 65.0% |
| 教育研究経費比率   | 教育研究経費／帰属収入      | 38.7% | 32.7% | 36.0% | 38.1% | 39.4% |
| 帰属収支差額比率   | (帰属収入-消費支出)／帰属収入 | 5.2%  | 6.6%  | 11.0% | 2.8%  | 2.9%  |
| 学生生徒等納付金比率 | 学生生徒等納付金／帰属収入    | 73.8% | 63.0% | 71.9% | 72.4% | 69.2% |
| 自己資金構成比率   | 自己資金／総資金         | 77.9% | 78.5% | 80.0% | 81.1% | 82.4% |

※自己資金＝基本金＋消費収支差額、総資金＝負債＋基本金＋消費収支差額



## Ⅲ. 事業の概要

平成 25 年度の主な新規事業及び継続事業の進捗状況は次のとおりです。

### Ⅲ-1 管理・運営

#### (1) 中長期計画の策定

世界で通用し、世界で最も魅力のある教育力・研究力をもったグローバルな大学となることを目指し、「東京理科大学の中長期計画（6 カ年計画）2014 年度～2019 年度」を策定しました。この計画は毎年見直しを行い、ビジョン「日本の理科大から世界の理科大へ」の実現に向けて進んでいきます。

#### (2) 葛飾キャンパス開設に伴う事務組織再編

葛飾キャンパスの開設に伴い、葛飾・神楽坂・野田の 3 キャンパス間の連携強化、円滑な業務遂行を目的として事務組織再編を行い、葛飾キャンパスに各部の統括部署を配置すると共に、各部が 3 キャンパスを横断的に管理する組織体制としました。

#### (3) 広報

##### ① 葛飾キャンパス開設記念式典・祝賀会の開催

葛飾キャンパス開設記念式典・祝賀会が開催され、約 600 人が参加しました。また、葛飾キャンパスと葛飾にいじゅくみらい公園のオープニングイベント「サイエンスマルシェ」を葛飾区と共催しました。「科学を街へ、科学の街へ。」をコンセプトに、区内の小・中学生、本学学生らによるステージ企画や本学学生などによる子ども向けの科学実験を実施し、約 2 万 5,000 人が来場しました。

##### ② 広報イベントの開催

###### ア) サイエンスフェア「みらい研究室」の開催

学生団体「みらい研究室」主体のイベント、サイエンスフェア「みらい研究室」が日本科学未来館において開催され、研究室等計 15 団体が参加し、子どもたちがモノ作りや実験を体験しました。来場者は過去最高の約 5,500 人を記録しました。

###### イ) 「科学のマドンナ」プロジェクトの実施

神楽坂キャンパスで「女性にしかわからない科学がある 春のマドンナ」が開催され、女子中高生や保護者約 100 人が参加し、本学 OG による講演や本学女子学生らによるポスターセッションが行われました。また、諏訪東京理科大学で「真夏のマドンナ」が初めて開催され、47 人の女子高校生が参加しました。さらに、野田キャンパスで開催された「“秋のマドンナ” Research から Professional へ」では、

本学女子学生と教員によるトークセッションや同時開催された理大祭の見学、実験体験などが行われ、女子中高生約 50 人の参加がありました。

#### ウ) 第 24 回英国科学実験講座「クリスマス・レクチャー」の開催

葛飾キャンパスの開設を記念して、「第 24 回英国科学実験講座 クリスマス・レクチャー2013」を葛飾キャンパス図書館大ホールで開催しました。約 600 人の方が来場し、本学教員による光触媒反応の実験と説明が行われました。

#### ③ 葛飾区との連携イベントの開催

葛飾区の方々を対象に、本学学生団体による科学イベント「オドロキ科学箱」や区民の方と本学教職員が共に合唱する「葛飾区民と第九を歌う会」などを開催し、区と連携しイベント告知などを行いました。

#### (4) ICT の強化

経営情報の可視化や予算編成の迅速化と短縮化、予算と実績の適時適切な把握を目的とした経営管理システムの構築を行うことを決定しました。

#### (5) 女性活躍推進会議の設置

女性の活力を活かして教育・研究の一層の活性化を図るための提言を行うことを目的とした理事長の諮問委員会として女性活躍推進会議を設置し、副学長及び理事に女性人財を登用することや、本法人及び法人が設置する大学における「女性活躍推進のための行動指針」の策定に関する提言を行いました。

#### (6) 東日本大震災において被災した学生への経済的支援

学生への経済的支援として、平成 24 年度に引続き東日本大震災において被災した学生への経済的支援を行いました。受験生に対する入学検定料の免除者は延べ人数 117 名（実人数 81 名）、また、学費等免除者は、学費全額免除 90 名、学費半額免除 26 名、80 万円を上限とした給付制奨学金 68 名でした。

#### (7) 大学基準協会による認証評価の受審

東京理科大学は、公益財団法人大学基準協会による大学評価（認証評価）を受審し、「評価の結果、貴大学は本協会の大学基準に適合していると認定する。認定の期間は 2021（平成 33）年 3 月 31 日までとする。」との評価を得ました。

また、専門職大学院 イノベーション研究科技術経営専攻(MOT 専攻)も経営系専門職大学院認証評価を受審し、同様に適合との評価を得ました。

### Ⅲ 事業の概要

#### Ⅲ-2 東京理科大学

##### (1) 教育・研究

###### ① 葛飾キャンパスの開設

平成 25 年 4 月に東京都葛飾区に葛飾キャンパスを開設しました。葛飾キャンパスは、先端融合分野を研究する“学園パーク型キャンパス”として整備され、立地条件を活かした“都心型キャンパス”としての神楽坂キャンパス、様々な研究施設を備えた“リサーチパーク型キャンパス”としての野田キャンパス等と連携を図りながら、それぞれの特徴を活かした教育・研究を行っています。

従来からのキャンパスから葛飾キャンパスへ移転した学部学科は以下のとおりで、大学院組織については以下の学科に対応する研究科各専攻が移転しました。

###### 【葛飾キャンパスへ移転した学部学科】

理学部第一部 応用物理学

工学部第一部 建築学科、電気工学科、機械工学科

工学部第二部 建築学科、電気工学科

基礎工学部 電子応用工学科、材料工学科、生物工学科

###### ② 薬学部薬学科の入学定員変更

平成 18 年度から学校教育法の改正による新薬学教育制度が開始されたことに伴い、薬学部では旧薬学科（入学定員 100 人）を 6 年制の新薬学科（入学定員 80 人）に再編して新課程の学部教育を開始しましたが、我が国の医療薬学分野の強化向上や更なる発展に寄与するため、また、昨今の志願者数の推移や就職状況が良好であること等を勘案し、平成 25 年 4 月に入学定員を 100 人に増員しました。

###### ③ 国際化の推進

###### ア) 国際化を目指す教育の推進

###### a コミュニケーション能力強化を目指した英語教育方針の検討・実施

学部学生を対象として「英語に親しむ」、「英語を感じる」、「英語を体験する」ことを目的に、8 月に葛飾キャンパスを留学生とオリエンテーリングしながら交流を深める「葛飾 1 日まるごと英語漬け」を、3 月には留学生と野田キャンパスのセミナーハウスに宿泊し英語運用能力を高める「野田 1 泊 2 日まるごと英語漬け」を実施しました。どちらのプログラムも募集人数 40 名の 2 倍を越える申し込みがあり、学生の参加意欲が高いプログラムでした。

b 学生の英語能力向上を支援する英語教育環境の整備

英語学習 E ラーニングシステム TUS English Online (TEO) の利便性を高める作業を行い、平成 26 年度からは東京理科大学の全学生が、TEO により、いつでもどこでも英語学習に取り組めることになりました。

c 教員・学生を含めた国際交流の活性化

平成 24 年度より取り組んでいる教員の派遣事業において、特に「若手研究者国際学会派遣」で昨年度を上回る 19 名を採択し、引き続き教員の国際活動支援を行うと共に、学生の国際交流にも取り組みました。平成 25 年度は上海同済大学、上海理工大学、タイ王国のカセサート大学からの学生訪問を受け入れ、交流の機会を設けました。

d 短期留学プログラム等の推進

主として夏に実施する語学研修プログラム (オレゴン、カリフォルニア、マンチェスター、シドニー、トロント)、春のみ実施しているインターンシッププログラム (シリコンバレー) に加え、派遣と受入を同時に行い相互の関係を深める双方向交流プログラムをインドネシアのバンドン工科大学との間で実施しました。これにより、平成 25 年度の海外大学等への派遣学生数は合計 200 名となり、前年度比 17% 増という結果となっています。

e こうよう会からの財政的支援

平成 25 年度に取り組んだ英語漬けプログラム、双方向交流プログラム、TEO の更新、TOEIC 受験料半額補助 (受験者 263 名) については、こうよう会 (父母会) からの財政的なご支援により実施することができました。

イ) 国際化推進のための広報活動

a 国際的な広報活動戦略の策定

本学の研究実績・研究成果を紹介する海外向けウェブサイトを構築し、最新の情報の提供・発信を行うこと、また、将来的にはウェブサイトでのベース言語は英語とし、その他言語でも対応できるホームページとすることを広報活動戦略として策定しました。

b 英文パンフレット、大学紹介 DVD の作成

英文パンフレットは、その対象を外国人大学院生、研究者として明確化を図ると共に、海外の方が閲覧する観点から、外部の作成スタッフにネイティブを入れる等、従来とは異なる視点で新たに作成しました。



### Ⅲ 事業の概要

また、本学教員が海外活動（学会発表等）で活用できるよう、英文パンフレット以外に英語版の大学紹介ビデオ、パワーポイントを作成し、学内掲示板（CENTIS）に公開しました。

#### c 英語版ホームページの充実

英語版ホームページは、英文パンフレットと同様に、その対象を外国人大学院生、研究者として明確にし、トップデザインも日本語版とは大きく変えると共に全体構成も対象に合わせて再構築を行いました。また、英文パンフレットと連動した教員による研究紹介の動画を取り入れました。

#### ④ 学生支援機構の設置

全学的な学生支援を通じて、正しい倫理観と豊かな人間性と共に社会的・職業的自立を図るために必要な能力を身につけた学生を育成するという学生支援の方針（理念）に基づき、正課内外の活動を有機的に連携させることを目的として、従来の学生部、学生相談室、及び就職支援を中心とした組織を統合し、平成25年4月に学生支援機構を、また、同機構の下に学生支援センターとキャリア支援センターを設置しました。

### （2）外部機関採択事業

#### ① 私立大学戦略的研究基盤形成支援事業の採択

文部科学省の私立大学戦略的研究基盤形成支援事業に本学の研究プロジェクトである「専門知の共有に基づくアジアの火災安全情報拠点を形成する研究」及び「疾病の克服を目指した領域横断型疾患モデル研究拠点を形成する研究」が採択されました。

#### ② 高等学校等の理数教育を担当する教員のためのプログラム

文部科学省の理数教育充実政策のひとつである「理数系教員支援プログラム」の一環として科学技術振興機構が公募する高等学校等の理数教育を担当する教員のためのプログラムに本学の「SSHレベルの総合指導力養成プログラム」が採択されました。

### （3）ICTの強化

#### ① ICT環境の充実

本学の学生や教職員が、いつ、どのキャンパスでも教育・研究活動や業務を円滑かつ効率的に行うことができる環境を構築するため、学生・教職員・卒業生へのOffice365メールの展開を行いました。

② グローバル IT 推進委員会の設置

教育研究の質の向上を図ることを目的として、情報基盤のグローバル化及び整備を推進するために、理事長の諮問委員会としてグローバル IT 推進委員会を設置しました。平成 25 年度中には 6 回の会議を開催し、主に VLE/VRE/VTE の開発方針、情報セキュリティ規程整備、Microsoft トレーニングコンテンツ等について審議検討を行いました。

(4) 産学官連携活動の強化

① 研究戦略・推進部及び URA 室の新設による新体制の構築

研究支援及び産学官連携体制を抜本的に見直すため、平成25年4月1日付けで事務総局に研究戦略・推進部を設置し、5月1日付けで同部研究戦略課にURA室を設置しました。

また、「理科大ならではの研究 (Only at TUS)」をグローバルに展開するという方針を学長を中心に決めました。

これを受け、研究戦略の策定、教員の研究活動や外部資金獲得等の支援、産学連携の促進・事業化を一体的に推進し、本学の研究力を向上させるため、平成26年4月1日付けで「東京理科大学研究戦略・産学連携センター」を設置する準備を進めました。なお、科学技術交流センターの機能は発展的に同センターに継承することとなりました。

② 葛飾区地元企業とのネットワークの構築

葛飾区を含む都内城東地域における産学公金の連携体制構築のため、東京都立産業技術研究センター、東京東信用金庫及びシグマバンクグループとの産学連携協定を締結しました。

また、葛飾区内企業を対象とした「葛飾区産学公連携シンポジウム」、「テクノロジー・カフェ (少人数・参加型講座)」を開催し、本学の取り組みを紹介すると共に、地元企業との連携を深めました。

さらに、葛飾キャンパス内にインキュベーションルーム及び産学試作開発室を設置し、本学との技術連携を推進する区内企業等を支援することとなりました。

(5) 施設・設備

① 総合教育機構理数教育研究センター数学体験館の開設

補習教育の強化、初年次教育の充実、学生の学習意欲や教育力の向上、教具・教材等の開発を実現することを目指して、神楽坂キャンパス近代科学資料館地下1階に「秋山仁の数学体験館」を開設しました。これは、数学の概念や定理・公式をハ

### Ⅲ 事業の概要

ンズオンで学べる作品約 70 点を常設展示する「数学体験プラザ」、授業で活用できる数学的作品や教具を制作する「数学工房」、蓄積された算数・数学の講義を大型ディスプレイやオーディオ機器で学習できる「数学授業アーカイブス」の 3 つから構成される体験的学習型施設です。

#### ② 生命医科学研究所動物施設の建築

文部科学省の「私立大学戦略的研究基盤形成支援事業」に申請した「疾病の克服を目指した領域横断型疾患モデル研究拠点の形成」事業が採択されたことに伴い、生命医科学研究所内に約 1,000 m<sup>2</sup>の動物実験施設を新たに建築しました。施設内は、恒温、恒湿で、かつ清浄環境（SPF グレード）を保つ様に設計され、微生物学的に清浄な状態が維持されています。また、施設内には胚操作室や各種実験室を設置すると共に、動物の飼育維持に不可欠な大型オートクレーブ、オゾン滅菌設備、大型ケージ洗浄機を設置しました。

#### ③ 光触媒国際研究センターの開設

光触媒研究の拠点となって世界中に光触媒技術を発展普及させていくことを目指して、経済産業省の「イノベーション拠点立地支援事業（技術の橋渡し拠点整備事業）」に採択された光触媒国際研究センターを開設しました。センター内には養液を光触媒によって浄化する植物工場やマイクロプラズマ CVD 装置、電子顕微鏡等の設備を擁しています。

#### ④ 総合研究棟の開設

平成 24 年度末に基礎工学部が野田キャンパスから葛飾キャンパスに移転したことに伴い、空いた 10 号館をリニューアルし、総合研究機構の各部門、機器センター、研究室等を各号館から集約し、総合研究棟としました。

### Ⅲ-3 山口東京理科大学

#### (1) 教職課程の開設

工学部において中学校及び高等学校の教員免許状を取得するため、新たに教職課程を開設、38名の学生が教員を目指し勉学に励んでいます。

#### (2) 学部教育と連携した新たな大学院教育の推進

学部教育との整合性を図るため、大学院研究科の名称を「工学研究科」に変更し、キャリア教育や人間形成に資する新たな授業科目を取り入れ、地域産業界に貢献する高度な専門的能力を持った人材育成に努めています。

#### (3) 産業界のニーズに対応した教育の展開

文部科学省「産業界のニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業」において、スマートなクルマづくりへの挑戦プロジェクト、電力システムプロジェクト型ものづくり教育やキャリア教育の取り組み状況について、地域の産官学関係者を対象としたシンポジウムを開催しました。

#### (4) 就職支援・キャリア育成体制の充実

求人企業開拓やカウンセリング等、就職支援体制を強化したことにより、毎月の就職内定率が向上しました。また、キャリア育成体制の充実に向けて多面的な情報収集を行い、改善に向けた継続的な取り組みを行いました。

#### (5) 教育研究を充実させるための基盤整備

文部科学省「私立大学等教育研究活性化設備整備事業」に申請し、汎用旋盤、有機微量元素分析装置、3Dプリンター、3Dスキャナーの整備について採択を受け、教育研究の高度化や活性化及び地域産業界に役立てています。

#### (6) 地域との連携強化

##### ① 山口県立大学、山口学芸大学との連携事業の推進

「大学教育充実のための大学連携支援プログラム」事業に継続して取り組みました。なお、本事業は平成30年度まで継続します。

##### ② 産学官連携活動の強化

科学技術交流センター（TLO）山口センターを中核として、産学官連携活動を強化し、外部資金の受入れ拡充や研究活動の高度化に努めています。

### Ⅲ 事業の概要

#### ③ 地域イノベーション戦略支援プログラム（グローバル型）事業

「やまぐちグリーン部材クラスター事業」地域産業の競争力強化や新産業創出を目指し、3大学、16企業、3公共機関が平成21年度から5年間連携し、その研究成果発表会が開催され高い評価を受けました。

### Ⅲ-4 諏訪東京理科大学

#### (1) システム工学部の改組に向けた諸準備の推進

時代の変化に対応するため、現在の「システム工学部」（「電子システム工学科」、「機械システム工学科」）の2学科を、平成26年4月から「工学部」（「機械工学科」、「電気電子工学科」及び「コンピュータメディア工学科」）の3学科に再編する設置届出手续を文部科学省に行い、平成25年8月27日付で正式に受理されました。

#### (2) 教育改革の推進

本学の教育理念である主体性・実践力のある学生を育成するために、全学組織である教育推進委員会を中心に教育の質的転換に向けて次のような施策に取り組みました。その結果、平成25年度文部科学省による「私立大学等改革総合支援事業の大学教育質転換型及び私立大学等教育研究活性化設備事業」に採択されました。

- ・全学科における学修ポートフォリオの充実
- ・シラバスの充実に向けて FD 実施委員会によるシラバスの第三者チェックを実施、後期授業科目については全科目の第三者チェックを実施
- ・授業改善に向けて、授業アンケートで高い評価を受けた授業の顕彰制度を導入
- ・FD 実施委員会による全学生を対象とした学修行動調査の実施、学生の主体的な学び等の促進に係る基礎データの収集
- ・教育改革の基礎データ収集と活用を進めるために新たに教学 IR 委員会を設置

#### (3) メディアラボ等の4つのラボの設置

昨年度文部科学省から得た補助金によって、学生に対するデジタルメディア技術の教育やデジタル技術を活用して、ものづくりのみならず幅広い地域産業の振興に貢献するため、メディアラボを設置しました。主な設備としては、3D プリンター、3DCG 作成装置、ミニスタジオとデジタルコンテンツ編集装置などがあります。運営に当っては、運営委員会に学外委員（茅野市職員、NPO 専門アドバイザー等）を委嘱し、地域のニーズをより反映する体制を整備しました。

これと並行して、実践的な教育と本学の教育研究の成果を発信するために、自然エネルギーの発生や活用について学修させる EV（電気自動車）ラボとエネルギーラボ、地域に出る学生の活動を支援するビジネスラボの3つのラボも設置しました。

#### (4) 地域連携の強化

諏訪圏ものづくり推進機構等の機関を通じての産業界との連携を一層推進すると共に、諏訪圏に本店を持つ諏訪信用金庫と新たに産学連携協力に関する協定を締結して、地域貢献をより幅広く進めることを可能としました。さらに、地域連携をより円滑に進められるように、「諏訪東京理科大学地域連携センター」を開設しました。これらの活動によって、平成 25 年度文部科学省の「私立大学等改革総合支援事業の地域特色型及び私立大学等教育研究活性化設備整備事業」にも採択されました。

## IV. 参考データ

## (1) 入学定員と学生数 (平成 25 年 5 月 1 日現在)

【東京理科大学－学部】

| 学 部     | 学 科       | 入学定員  | 収容定員   | 学生数    |
|---------|-----------|-------|--------|--------|
| 理学部第一部  | 数 学 科     | 100   | 400    | 480    |
|         | 物 理 学 科   | 100   | 400    | 478    |
|         | 化 学 科     | 100   | 400    | 476    |
|         | 数理情報科学科   | 100   | 400    | 484    |
|         | 応用物理学科    | 100   | 400    | 480    |
|         | 応用化学科     | 100   | 400    | 429    |
|         | 計         | 600   | 2,400  | 2,827  |
| 理学部第二部  | 数 学 科     | 120   | 480    | 591    |
|         | 物 理 学 科   | 120   | 480    | 569    |
|         | 化 学 科     | 120   | 480    | 570    |
|         | 計         | 360   | 1,440  | 1,730  |
| 薬 学 部   | 薬学科 (6年制) | 100   | 500    | 550    |
|         | 生命創薬科学科   | 100   | 400    | 425    |
|         | 計         | 200   | 900    | 975    |
| 工学部第一部  | 建 築 学 科   | 90    | 360    | 424    |
|         | 工 業 化 学 科 | 90    | 360    | 434    |
|         | 電 気 工 学 科 | 90    | 360    | 418    |
|         | 経 営 工 学 科 | 90    | 360    | 424    |
|         | 機 械 工 学 科 | 90    | 360    | 394    |
|         | 計         | 450   | 1,800  | 2,094  |
| 工学部第二部  | 建 築 学 科   | 80    | 320    | 415    |
|         | 電 気 工 学 科 | 80    | 320    | 385    |
|         | 経 営 工 学 科 | 80    | 320    | 348    |
|         | 計         | 240   | 960    | 1,148  |
| 理 工 学 部 | 数 学 科     | 110   | 440    | 508    |
|         | 物 理 学 科   | 110   | 440    | 491    |
|         | 情 報 科 学 科 | 100   | 400    | 503    |
|         | 応用生物科学科   | 100   | 400    | 466    |
|         | 建 築 学 科   | 110   | 440    | 535    |
|         | 工 業 化 学 科 | 110   | 440    | 515    |
|         | 電気電子情報工学科 | 155   | 620    | 686    |
|         | 経 営 工 学 科 | 110   | 440    | 551    |
|         | 機 械 工 学 科 | 110   | 440    | 501    |
|         | 土 木 工 学 科 | 100   | 400    | 479    |
|         | 計         | 1,115 | 4,460  | 5,235  |
| 基礎工学部   | 電子応用工学科   | 100   | 400    | 445    |
|         | 材 料 工 学 科 | 100   | 400    | 448    |
|         | 生 物 工 学 科 | 100   | 400    | 433    |
|         | 計         | 300   | 1,200  | 1,326  |
| 経 営 学 部 | 経 営 学 科   | 240   | 960    | 1,117  |
|         | 計         | 240   | 960    | 1,117  |
| 合 計     |           | 3,505 | 14,120 | 16,452 |

## 【東京理科大学－大学院】

| 研究科              | 専攻                | 修士課程又は<br>専門職学位課程 |       |       | 博士後期課程 |      |     |
|------------------|-------------------|-------------------|-------|-------|--------|------|-----|
|                  |                   | 入学定員              | 収容定員  | 学生数   | 入学定員   | 収容定員 | 学生数 |
| 理学研究科            | 数 学 専 攻           | 15                | 30    | 36    | 3      | 9    | 11  |
|                  | 物 理 学 専 攻         | 40                | 80    | 77    | 5      | 15   | 25  |
|                  | 数 理 情 報 科 学 専 攻   | 25                | 50    | 57    | 3      | 9    | 9   |
|                  | 応 用 物 理 学 専 攻     | 40                | 80    | 73    | 3      | 9    | 7   |
|                  | 計                 | 120               | 240   | 243   | 14     | 42   | 52  |
| 総合化学研究科          | 総 合 化 学 専 攻       | 160               | 320   | 384   | 10     | 30   | 28  |
|                  | 計                 | 160               | 320   | 384   | 10     | 30   | 28  |
| 科学教育研究科          | 科 学 教 育 専 攻       | 40                | 80    | 71    | 3      | 9    | 10  |
|                  | 計                 | 40                | 80    | 71    | 3      | 9    | 10  |
| 薬学研究科            | 薬学専攻〔4年制〕         | —                 | —     | —     | 5      | 10   | 3   |
|                  | 薬 科 学 専 攻         | 90                | 180   | 182   | 5      | 10   | 12  |
|                  | (旧 薬学専攻〔3年制〕)     | —                 | —     | —     | 0      | 6    | 5   |
|                  | 計                 | 90                | 180   | 182   | 10     | 26   | 20  |
| 工学研究科            | 建 築 学 専 攻         | 40                | 80    | 119   | 3      | 9    | 1   |
|                  | 電 気 工 学 専 攻       | 60                | 120   | 153   | 3      | 9    | 10  |
|                  | 経 営 工 学 専 攻       | 30                | 60    | 62    | 3      | 9    | 20  |
|                  | 機 械 工 学 専 攻       | 40                | 80    | 121   | 3      | 9    | 4   |
|                  | 計                 | 170               | 340   | 455   | 12     | 36   | 35  |
| 理工学研究科           | 数 学 専 攻           | 10                | 20    | 16    | 3      | 9    | 6   |
|                  | 物 理 学 専 攻         | 30                | 60    | 61    | 3      | 9    | 6   |
|                  | 情 報 科 学 専 攻       | 40                | 80    | 97    | 4      | 12   | 7   |
|                  | 応 用 生 物 科 学 専 攻   | 60                | 120   | 99    | 4      | 12   | 8   |
|                  | 建 築 学 専 攻         | 60                | 120   | 142   | 3      | 9    | 3   |
|                  | 工 業 化 学 専 攻       | 70                | 140   | 181   | 3      | 9    | 11  |
|                  | 電 気 工 学 専 攻       | 60                | 120   | 154   | 3      | 9    | 3   |
|                  | 経 営 工 学 専 攻       | 30                | 60    | 61    | 3      | 9    | 7   |
|                  | 機 械 工 学 専 攻       | 50                | 100   | 125   | 3      | 9    | 4   |
|                  | 土 木 工 学 専 攻       | 30                | 60    | 60    | 3      | 9    | 2   |
| 計                | 440               | 880               | 996   | 32    | 96     | 57   |     |
| 基礎工学研究科          | 電 子 応 用 工 学 専 攻   | 50                | 100   | 104   | 6      | 18   | 8   |
|                  | 材 料 工 学 専 攻       | 50                | 100   | 137   | 6      | 18   | 11  |
|                  | 生 物 工 学 専 攻       | 50                | 100   | 133   | 6      | 18   | 19  |
|                  | 計                 | 150               | 300   | 374   | 18     | 54   | 38  |
| 経営学研究科           | 経 営 学 専 攻         | 20                | 40    | 20    | —      | —    | —   |
|                  | 計                 | 20                | 40    | 20    | —      | —    | —   |
| 生命科学研究科          | 生 命 科 学 専 攻       | 15                | 30    | 23    | 5      | 15   | 15  |
|                  | 計                 | 15                | 30    | 23    | 5      | 15   | 15  |
| イノベーション<br>研 究 科 | 技 術 経 営 専 攻       | 60                | 120   | 125   | —      | —    | —   |
|                  | 知 的 財 産 戦 略 専 攻   | 80                | 160   | 136   | —      | —    | —   |
|                  | イ ノ ベ ー シ ョ ン 専 攻 | —                 | —     | —     | 5      | 15   | 10  |
|                  | 計                 | 140               | 280   | 261   | 5      | 15   | 10  |
| 国際火災科学研究科        | 火 災 科 学 専 攻       | 28                | 56    | 28    | 3      | 6    | 9   |
|                  | 計                 | 28                | 56    | 28    | 3      | 6    | 9   |
| 合 計              |                   | 1,373             | 2,746 | 3,037 | 112    | 329  | 274 |



#### IV 参考データ

##### 【東京理科大学－専攻科】

| 専攻科   | 専攻    | 入学定員 | 収容定員 | 学生数 |
|-------|-------|------|------|-----|
| 理学専攻科 | 数学専攻  | 20   | 20   | 25  |
|       | 物理学専攻 | —    | —    | —   |
|       | 化学専攻  | —    | —    | —   |
|       | 計     | 20   | 20   | 25  |

(注) 物理学専攻及び化学専攻は平成16年4月1日付で募集停止。

##### 【山口東京理科大学－学部】

| 学部    | 学科       | 入学定員 | 収容定員 | 学生数 |
|-------|----------|------|------|-----|
| 基礎工学部 | 電子・情報工学科 | —    | —    | 5   |
|       | 物質・環境工学科 | —    | —    | 4   |
|       | 計        | 0    | 0    | 9   |
| 工学部   | 機械工学科    | 60   | 240  | 196 |
|       | 電気工学科    | 60   | 240  | 209 |
|       | 応用化学科    | 80   | 320  | 239 |
|       | 計        | 200  | 800  | 644 |
| 合計    |          | 200  | 800  | 653 |

(注) 平成21年4月1日付で、基礎工学部は工学部に名称変更、  
電子・情報工学科は学生募集停止、物質・環境工学科は応用化学科に名称変更。

##### 【山口東京理科大学－大学院】

| 研究科     | 専攻     | 修士課程 |      |     | 博士後期課程 |      |     |
|---------|--------|------|------|-----|--------|------|-----|
|         |        | 入学定員 | 収容定員 | 学生数 | 入学定員   | 収容定員 | 学生数 |
| 基礎工学研究科 | 基礎工学専攻 | —    | —    | 5   | —      | —    | 2   |
|         | 計      | —    | —    | 5   | —      | —    | 2   |
| 工学研究科   | 工学専攻   | 15   | 15   | 9   | 3      | 3    | 0   |
|         | 計      | 15   | 15   | 9   | 3      | 3    | 0   |
| 合計      |        | 15   | 15   | 14  | 3      | 3    | 2   |

(注) 平成25年度からは研究科専攻名が工学研究科工学専攻に名称変更となる。

##### 【諏訪東京理科大学－学部】

| 学部      | 学科        | 入学定員 | 収容定員  | 学生数 |
|---------|-----------|------|-------|-----|
| システム工学部 | 電子システム工学科 | 100  | 400   | 335 |
|         | 機械システム工学科 | 100  | 400   | 234 |
|         | 計         | 200  | 800   | 569 |
| 経営情報学部  | 経営情報学科    | 100  | 400   | 384 |
|         | 計         | 100  | 400   | 384 |
| 合計      |           | 300  | 1,200 | 953 |

##### 【諏訪東京理科大学－大学院】

| 研究科          | 専攻          | 修士課程 |      |     | 博士後期課程 |      |     |
|--------------|-------------|------|------|-----|--------|------|-----|
|              |             | 入学定員 | 収容定員 | 学生数 | 入学定員   | 収容定員 | 学生数 |
| 工学・マネジメント研究科 | 工学・マネジメント専攻 | 15   | 30   | 33  | 2      | 4    | 6   |
| 合計           |             | 15   | 30   | 33  | 2      | 4    | 6   |

## (2) 入試状況 (平成 26 年度入試)

## 【東京理科大学】

|        | A方式  |        |       | B方式   |        |        | C方式  |       |      |
|--------|------|--------|-------|-------|--------|--------|------|-------|------|
|        | 募集人数 | 志願者数   | 合格者数  | 募集人数  | 志願者数   | 合格者数   | 募集人数 | 志願者数  | 合格者数 |
| 理学部第一部 | 90   | 3,100  | 1,099 | 330   | 7,865  | 1,952  | 60   | 657   | 126  |
| 理学部第二部 | 55   | 421    | 218   | 195   | 860    | 350    |      |       |      |
| 工学部第一部 | 55   | 2,520  | 825   | 260   | 6,823  | 1,901  | 45   | 749   | 191  |
| 工学部第二部 | 24   | 287    | 145   | 105   | 553    | 197    | 15   | 92    | 36   |
| 薬学部    | 30   | 1,331  | 406   | 116   | 2,714  | 542    | 18   | 275   | 59   |
| 理工学部   | 160  | 5,088  | 1,849 | 631   | 11,514 | 4,228  | 111  | 1,255 | 269  |
| 基礎工学部  | 36   | 1,100  | 379   | 144   | 2,760  | 889    | 30   | 389   | 73   |
| 経営学部   | 48   | 1,732  | 582   | 119   | 1,297  | 393    | 25   | 142   | 46   |
| 計      | 498  | 15,579 | 5,503 | 1,900 | 34,386 | 10,452 | 304  | 3,559 | 800  |

## 【山口東京理科大学】

|     | A方式  |      |      | B方式  |      |      |
|-----|------|------|------|------|------|------|
|     | 募集人数 | 志願者数 | 合格者数 | 募集人数 | 志願者数 | 合格者数 |
| 工学部 | 70   | 220  | 213  | 70   | 80   | 65   |
| 計   | 70   | 220  | 213  | 70   | 80   | 65   |

【A方式】  
大学入試センター  
試験を利用した制度

【B方式】  
本学独自の入学試験

【C方式】  
大学入試センター試験と本学独自の入学  
試験を併用した制度

## 【諏訪東京理科大学】

|        | A方式  |      |      | B方式  |      |      |
|--------|------|------|------|------|------|------|
|        | 募集人数 | 志願者数 | 合格者数 | 募集人数 | 志願者数 | 合格者数 |
| 工学部    | 45   | 399  | 341  | 49   | 249  | 153  |
| 経営情報学部 | 25   | 46   | 42   | 25   | 22   | 18   |
| 計      | 70   | 445  | 383  | 74   | 271  | 171  |

## (3) 学位授与状況 (平成 25 年度)

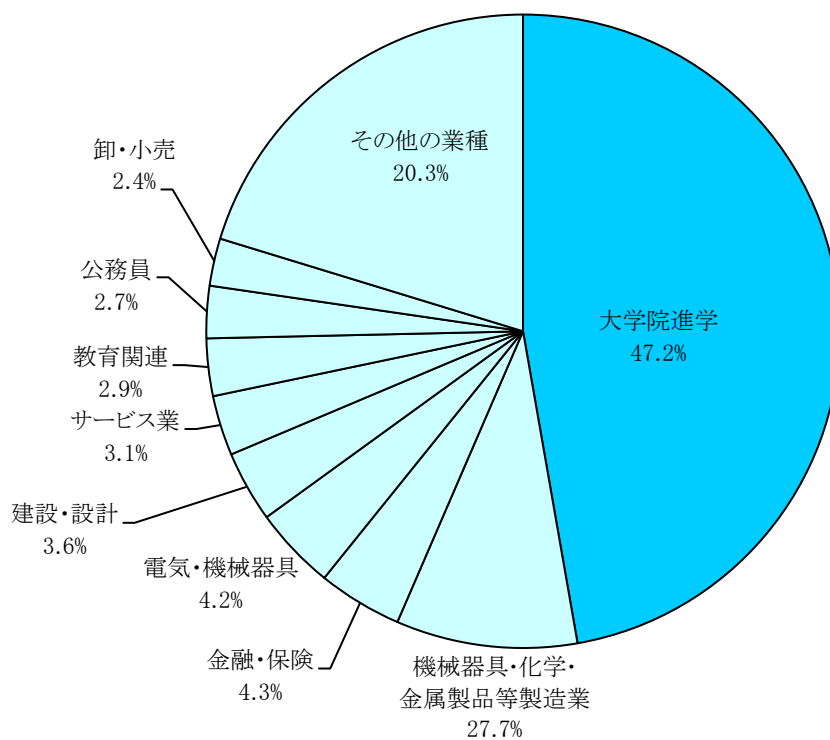
|     |            | 理科大   | 山口理大 | 諏訪理大 |
|-----|------------|-------|------|------|
| 大学  | 学士         | 3,719 | 110  | 246  |
| 大学院 | 修士         | 1,558 | 5    | 11   |
|     | 博士 (課程・論文) | 65    | 1    | —    |
| 計   |            | 5,342 | 116  | 257  |

#### IV 参考データ

#### (4) 進路状況 (平成 25 年度 卒業・修了生)

##### ① 東京理科大学 [卒業・修了生数 : 5,342 人]

##### i) 学部生進路状況



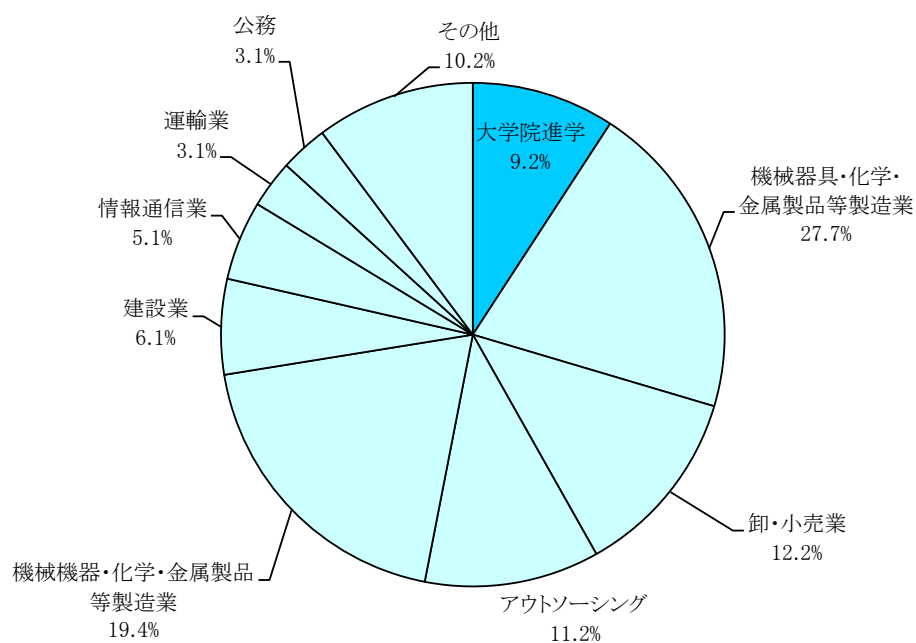
| 主な進学先     | 人数(人) | 主な進学先       | 人数(人) |
|-----------|-------|-------------|-------|
| 東京理科大学大学院 | 1347  | 京都大学大学院     | 11    |
| 東京大学大学院   | 115   | 名古屋大学大学院    | 9     |
| 東京工業大学大学院 | 111   | 東京医科歯科大学大学院 | 9     |
| 筑波大学大学院   | 29    | 北海道大学大学院    | 8     |
| 東北大学大学院   | 13    | 早稲田大学大学院    | 6     |
| 首都大学東京大学院 | 12    | その他の大学大学院   | 87    |

## ii) 主な就職先 (学部・大学院)

| 就 職 先   | 人数(人) |
|---|-------|
| 中学・高校教員 (公立79名/私立59名)                         | 138   |
| 公務員 (国家公務員31名/地方公務員95名)                       | 126   |
| 東日本電信電話 (株)、東日本旅客鉄道 (株)                       | 24    |
| 東京都 (都職員)、キヤノン (株)                            | 20    |
| (株) 日立製作所、ソフトバンク (株)<br>(株) NTTデータ、トヨタ自動車 (株) | 18    |
| (株) リコー、日本電気 (株)                              | 16    |
| NECソフト (株)、大和ハウス工業 (株)                        | 15    |
| TIS (株)                                       | 14    |

## ② 山口東京理科大学 [卒業・修了生数：116人]

## i) 学部生進路状況



| 主な進学先         | 人数(人) |
|---------------|-------|
| 山口東京理科大学大学院   | 3     |
| 東京理科大学大学院     | 2     |
| 東北大学大学院       | 1     |
| 九州大学大学院       | 1     |
| 九州工業大学大学院     | 1     |
| 北陸先端科学技術大学院大学 | 1     |

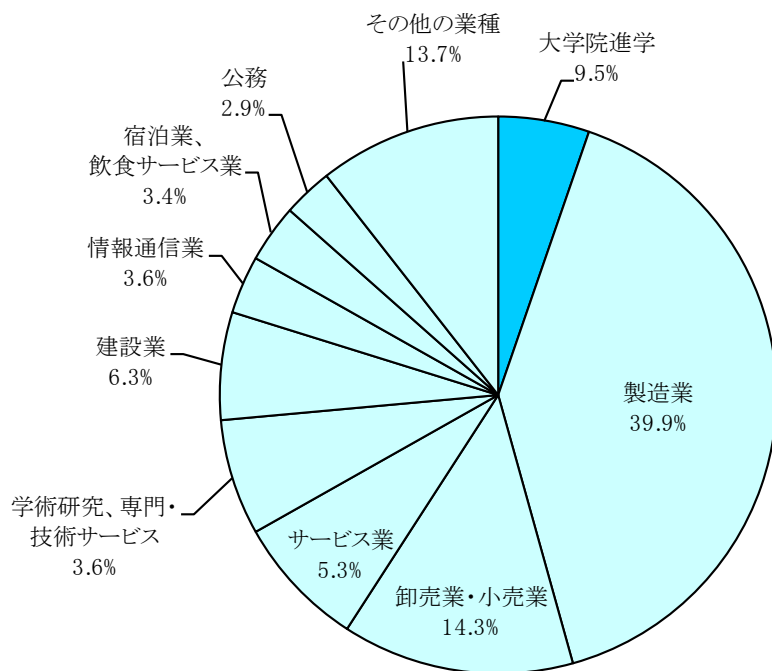
IV 参考データ

ii) 主な就職先 (学部・大学院)

| 就 職 先  | 人数(人) |
|--|-------|
| SOLIZE Engineering(株)  | 4     |
| (株)フォーラムエンジニアリング   | 3     |
| UTホールディングス(株)、ホシザキ中国(株)、(株)九動、(株)コスモス薬品、(株)中国クボタ、(株)ジャパンコンピューターサービス、(株)新日配薬品、(株)メイテックフィルダーズ、(株)モビテック、(株)やまみ、   | 2     |
| アイエックス・ナレッジ(株)、朝日工業(株)、石川金属工業(株)、宇部興産(株)、戎屋化学工業(株)、王子ゴム化成(株)、カイ インダストリーズ(株)、片山工業(株)、九州旅客鉄道(株)山九(株)、佐賀県信用漁業協同組合連合会、三協化成(株)、下関海陸運送(株)、住友電装(株)、総合警備保障(株)、田口電機工業(株)、東洋合成工業(株)、トーフレ(株)、富士通特機システム(株)、独立行政法人水資源機構、南条装備工業(株)、日本シーレーク(株)、山口三菱自動車販売(株)、防府とくち農業協同組合、山口合同ガス(株)、(株)V S N、(株)アウトソーシングテクノロジー、(株)エイム、(株)カシワバラ・コーポレーション、(株)協和エクシオ、(株)佐藤渡辺、(株)ジャパンディスプレイ、(株)長府製作所、(株)菜の花、(株)日本点眼薬研究所、(株)マルハン、(株)日立テクノロジーアンドサービス、(株)ビッグモーター、防衛省 自衛隊、警視庁、山口県警察 | 1     |

③ 諏訪東京理科大学 [卒業・修了生数：257人]

i) 学部生進路状況



| 主な進学先       | 人数(人) |
|-------------|-------|
| 諏訪東京理科大学大学院 | 7     |
| 山梨大学大学院     | 2     |
| 東京理科大学大学院   | 1     |
| 早稲田大学大学院    | 1     |

## ii) 主な就職先 (学部・大学院)

| 就 職 先  | 人数(人) |
|--|-------|
| GAC(株)   | 4     |
| 山洋電気テクノサービス(株)、アート金属工業(株)、(株)小松精機工作所、(株)イースタン、日本連合警備(株)、(株)ツルヤ、(株)越前屋  | 3     |
| 信州諏訪農業協同組合、(株)西源、野村ユニソングループ、(株)沖アドバンストコミュニケーションズ、(株)みすずコーポレーション、(株)共栄製作所、長野精工(株)、(株)スワコー、(株)スギムラ精工   | 2     |
| コンピュータロン(株)、ジット(株)、トヨタUグループ、カップパ・クリエイト(株)、ナパック(株)、ネクストエナジー・アンド・リソース(株)、カルチュア・コンビニエンスクラブ(株)、春日電機(株)、マルゴ工業(株)、マルヤス機械(株)、(株)近藤紡績所、ヤマト運輸(株)、(株)IHIターボ、宮坂ゴム(株)、日信工業(株)、(株)オーク製作所、日本電産サーボ(株)、(株)キッツメタルワークス、(株)小林会計事務所、(株)中信高周波、(株)平出精密、(株)ダイヤ精機製作所、三和電子サーキット(株)、KYB-YS(株)、(株)デンセン、(株)ノジマ、上田日本無線(株)、カワダ工業(株)、税理士法人 柳澤会計、(株)ホンダカーズ長野東、長野プロパンガス(株)、YBSグループ、日本S E(株)、日本郵政(株)、アイ・ティー・シーネットワーク(株)、自衛隊、警視庁、茅野市役所、松本市役所、辰野町商工会、山梨県立甲府城西高等学校、 | 1     |

